

箱根組ニュース

第285号 2016年 8月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

大菩薩峠から小金沢連続6時間半。2000mの尾根は爽快で手ごたえも十分だった！

7月23日(土)、JR中央線東京駅発6時7分の中央特快高尾行に乗車。高尾で7時6分の中央本線に乗り換え、甲斐大和に8時1分着。

降り立ったのは、宗像夫人、川名夫人、神山、及川、戸丸の5名。

駅前には上日川峠行きバスを待つ登山客が70〜80名ほどはいただろうか。長い列が出来ている。バスは30〜40名ほどの定員の中型バス。

その前に予約らしいバスが一台発車した。

一台目のバスが定員一杯になって出発した。我々も2台目のバスに何とか乗車し、女性4人は無事座れた。私は一番奥の補助席を出して座った。

すると運転手さんが、「補助席の方は立ってください」と、「残りの方が全員乗るので立っていただかないと乗り切れない」と。うちの女性3人に詰めてもらって最後列に何とか座った。おにぎりを食べようと思っていたので助かった。補助席の通路に残りの客が立ったまま

超満員のバスは8時10分過ぎ、何とか出発した。
バスは日川沿いの道を高度を上げながら進んでゆく。

9時5分、標高1580mの上日川峠、ロッジ長兵衛前に到着。ここ数日東京も気温が低めだったが、バスを降りると寒いほどの気温だ。身支度とトイレ休憩をしているとロッジの横で美味しそうな桃を売っている。一個100円、人数分購入。各々ストレッチをする。

9時20分、歩き出す。ロッジの右側から山に入ってゆく。クマ出没注意の黄色い看板がある。大菩薩嶺の大きな看板が右側にある。少し舗装路を行くと左側に登山道が現れる。どちらでも行けるが迷わず山道を選んで進む。足元は笹でブナやミズナラ、カエデ等の美しい森が始まる。心から来てよかったと思える森だ。
9時50分、懐かしい福ちゃん荘着。何度も来ているが、今まではタクシーで来ていたので、ここまでの30分の森の楽しさは初体験だった。



小屋の前で小休止。たくさんの方が休憩している。右方向の緑の草尾根がこれから行く小金沢への尾根のようだ。

10時発。5分ほどで小さな橋を渡ったところに勝縁荘がある。横を通過。

10時45分、大菩薩峠着。介山荘の土産屋を抜け看板の前で記念撮影。たくさんの方で賑わっている。

10時58分、出発。たくさんの方が向かう北側の大菩薩峠とは反対の南側の小金沢連嶺に初めて挑戦する。小金沢山經由湯ノ沢峠までの約4時間半のコースだ。標高2000mのアップダウンの始まりだ。

さっそく道は針葉樹の木の間と岩交じりの登りになる。苔むして北八ヶ岳を思わせる尾根道だ。木々の緑と苔

現在の収支		
繰越収入	33565	円
		0
支出		
印刷費	1000	円
コピー代	400	円
現在高	32165	円

の緑が尾根に広がり陽ざしが差し込むと別世界のようだ。しかし尾根道は想像以上に険しい。アルプスのトレッキングにもなる素晴らしい

82円切手
150枚



●8月20日(土) 宿泊先
伊東温泉 鈴伝荘

静岡県伊東市広野 4-1-13

【TEL】0557-37-3910

朝食付き1泊6000円

●宿の場所

南伊東駅を降り、駅前を左、線路沿いに伊東駅方向に500mほど進む、5本目の道を右折して左側、南伊東駅から徒歩4〜5分

8月20日(土)、21日(日)は伊東の海と温泉。

20日土曜日、南伊東で西川さんと合流し川奈海水浴場で遊び、鈴伝荘宿泊。夕食は佐八。21日も川奈海水浴場で遊ぶ。

※川奈海水浴場は今まで行っていたところより5分ほど南ということが判明。海の家もあり磯も素晴らしいとの事。

※海に入る方は、水着、水中眼鏡、スノーケル、フィン等持参。

○持ち物 20日の昼食、飲料水、非常食、雨具、傘、タオル、着替え、筆記用具、救急薬品(三角巾、包帯、痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)

●申し込みは8月17日(水)までに

集合 8/20(土)

JR東京駅 8:38発

(10番線) 熱海行き(前から3両目)

熱海10:29着(乗り換え) 10:34発

伊豆急下田行き 川奈11:05着

※小田急新宿発の場合

新宿8:21発 小田原9:54(乗り換え)

JR小田原10:05発 熱海行き

●交通費(片道) 東京~川奈 2600円

(小田急利用) 新宿~川奈 1880円

●費用 宿泊と宴会で 約1万円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



尾根だ。

11時20分、ピークを越えると目の前に草原が広がり右下には大菩薩湖が見える。草原に下ってゆく。

11時35分、鞍部の石丸峠到着。笹原の間に高山植物がひっそりと咲いている。ツリガネニンジン？、ウスユキソウ、シモツケソウ等。青空も出て気持ちがいい。再び登ってゆく。

11時45分、左に行く牛ノ寝通りと別れる。この道を行けば以前ラクダコーズで歩いた鶴寝山につながる。

11時48分、1957mの天狗棚山と思われるピークを越えた。時間もいいので見晴らしのいいここで短めの昼食とする。まずは朝買った桃にかじりつく。ビールで乾杯し、お弁当と持ち寄りのお惣菜が行ったり来たりする。

12時25分、出発。大菩薩湖を見ながら下ってゆく。また苔むした森林を上り下りして、1時50分、2014m最高点の小金沢山着。ガスが出てきた。

2時35分、1990mの牛奥ノ雁ヶ腹摺山着。3時25分、川胡桃沢ノ頭。少し小雨が降る。4時4分、大峠への分岐通過。足元にシダが多くなる。

4時15分、1987.5m黒岳着。4時35分、白谷ノ丸着。みると南

方向に三つのコブの三つ峠がアンテナで確認できた。あの辺に富士山があるはずと思っていたら、三つ峠の真上の雲の上の高いところに黒い富士山がうつすらと姿を見せた。あんなに高いのかと感動を覚えた。緑の丘を越え、きつい下りを降りると、5時15分、湯ノ沢峠着。タクシー待ちの間、着替えとコーヒータムをして休憩。

甲斐大和7時過ぎの高尾行で帰路に着く。

★白馬岳参加者募集(定員8名) 現在2名

9月16日(金) 19日(月・祝)
北アルプス・白馬岳3泊4日

白馬岳日程。(3泊4日)

16日(金) 歩行1時間

朝、東京発、猿倉〜白馬尻小屋泊。

17日(土) 歩行5時間

大雪溪経由山頂、白馬山荘泊。(個室)

18日(日) 歩行5時間

白馬三山の稜線〜白馬鑓温泉泊。

19日(月・祝) 歩行3時間40分

猿倉から東京へ

●あずさチケット各自確保

参加希望者は次のチケットを取ってください。(1か月前から予約出来ます)

△行き

9月16日(金) 新宿発 7時30分発

あずさ3号 新宿〜白馬 指8300円

白馬駅 11時28分着

△帰り

9月19日(月) 白馬発 14時37分発

あずさ26号 白馬〜新宿 指8300円

新宿駅 18時34着

●費用 宿代 32700円(弁当付き)

電車代16600円、他、個室料金、タクシー代、バス代約5000円

※参加申し込み後、チケットを購入の事!

